

## コロナ禍 言葉を研ぎ澄ます

高校生 東 勇飛 18 金沢市

コロナ禍に突入し、私たちの日常にも大きな変化が生まれた。友人や家族との外出が減り、学校の授業もオンラインが併用して行われるようになった。

私が気になるのは、コロナ禍で皆がマスクを着用して表情が見えにくくなったことだ。私たちは日ごろより言葉だけでコミュニケーションを取っているわけではない。表情を変えることで言葉にしなくても伝えることがあったり心の機微に接することがある。マスク着用により、

表情が伝えにくくなったと思う。

しかし、プラスになる部分もある。表情での表現が制限されるために、自分が発する言葉がより正確に伝わるように努力すると思う。自分の語彙が増え、表情を制限した中で言葉を中心にするコミュニケーションにより、多くの人たちも言葉の表現が研ぎ澄まされ、語彙を増やした方法が広がっていくと思われる。